

財団法人つくば都市振興財団

[法人の概要]

平成19年7月1日現在

代表者名	理事長 鈴木 宏 (常勤)	県所管部課	企画部つくば地域振興課	
所在地	茨城県つくば市竹園1-10-1	電話番号	029-856-7007	
ホームページURL	http://tsukubacity.or.jp	E-mailアドレス	zaidan@tsukubacity.or.jp	
資本金(基本財産)	597,600 千円	設立年月日	平成3年 3月25日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額	出資比率
	1	つくば市	425,000 千円	71.1 %
	2	茨城県	100,000 千円	16.7 %
	3	筑波都市整備株式会社	13,000 千円	2.2 %
	4	財団法人つくば科学万博記念財団	10,000 千円	1.7 %
	5	株式会社常陽銀行	10,000 千円	1.7 %
	その他	64 団体	39,600 千円	6.6 %
設立目的	筑波研究学園都市の振興・発展を目指して、地域情報の収集提供や芸術・文化の振興活動、さらに在住外国人に対する支援活動等を行うことにより、住民の豊かで魅力ある都市生活の向上に寄与する。			

[事業の概要]

事業名	平成19年度事業費	内容
事業1 芸術文化事業	68,017 千円	優れた舞台芸術作品、演奏家の招聘公演を中心に、住民参加型企画等を複合的に行うことにより、住民の芸術文化に対する理解を深めるとともに、すそ野の拡大に努める。
事業2 ノバホール・つくばカピオ管理運営事業	198,672 千円	指定管理者としてノバホール・つくばカピオの管理運営を的確に行い、更なる安全性、サービスの向上に努め、地域住民の文化・サークル活動の一層の高揚を図る。
事業3 国際交流事業	8,266 千円	国際都市つくば及び周辺地域に在住する外国人への支援事業並びに地域住民との交流事業の実施により、相互理解を深め国際交流の推進を図る。

[組織]

7月1日現在の人数	平成17年			平成18年			平成19年			
	県派遣	県OB		県派遣	県OB		県派遣	県OB		
役員	常勤理事	2	0	0	2	0	0	2	0	0
	非常勤理事	11	0	1	10	0	1	11	0	1
	常勤監事	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非常勤監事	2	0	0	2	0	0	2	0	0
	計	15	0	1	14	0	1	15	0	1
職員	管理職	2	0	0	2	0	0	2	0	0
	一般職	18	0	0	14	0	0	14	0	0
	臨時職員	2	0	0	1	0	0	1	0	0
	嘱託職員	1	0	0	1	0	0	1	0	0
	計	23	0	0	18	0	0	18	0	0
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数			
	3	9	3	3	18	歳 月	年 月			

[収支の状況]

財団法人つくば都市振興財団

(単位:千円)

区 分		平成16年度	平成17年度	平成18年度
収 支 の 状 況	収入合計	396,913	364,040	429,660
	事業収入	255,362	239,895	345,511
	事業外収入	141,551	124,145	84,149
	支出合計	394,056	381,400	408,646
	事業支出	316,363	291,764	328,436
	事業外支出	77,693	89,636	80,210
	うち管理費	124,242	132,118	131,239
	うち人件費	112,807	123,395	124,577
	当期収支差額	2,857	△ 17,360	21,014
	正味財産増加額	2,867	6,450	734
	正味財産減少額	2,246	21,106	15
当期正味財産増減額	3,478	△ 32,016	21,733	
前期繰越正味財産	646,087	649,565	617,549	
期末正味財産	649,565	617,549	639,282	
財 産 の 状 況	資産	700,480	689,901	721,954
	流動資産	83,989	67,241	96,672
	固定資産	616,491	622,660	625,282
	負債	50,915	72,352	82,672
	流動負債	43,709	44,320	52,737
	うち短期借入金	0	0	0
	固定負債	7,206	28,032	29,935
	うち長期借入金	0	0	0
正味財産	649,565	617,549	639,282	

[財的関与の状況]

(単位:千円)

区 分		平成16年度	平成17年度	平成18年度
財 的 関 与 状 況	補助金	0	0	0
	委託金	2,748	2,748	2,957
	貸付金			
	計	2,748	2,748	2,957
	財政的関与の割合(%)	1%	1%	1%
	損失補償・債務保証			

[平成18年度の補助金等の目的・内容等]

支 出 項 目	目 的 ・ 内 容 ・ 効 果
補助金	
委託金	茨城県近代美術館つくば分館の企画展開催時の臨時警備業務
貸付金	

[評点集計]

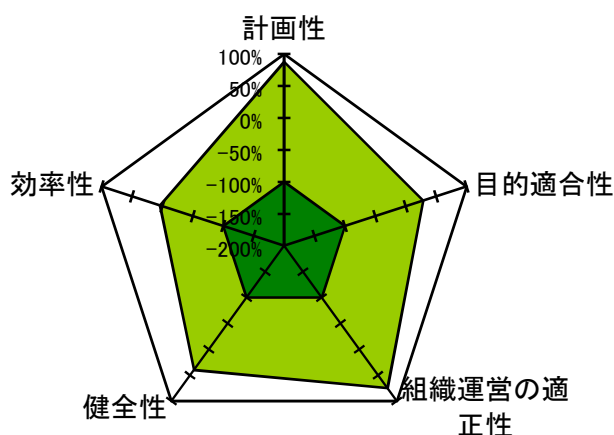
評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	7	8	87.5%
目的適合性	5	4	14	28.6%
組織運営の適正性	4	6	8	75.0%
健全性	11	16	40	40.0%
効率性	7	1	24	4.2%
合計	31	34	94	36.2%

警戒指標

《評価の視点》

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

経営評価レーダーチャート



各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照

[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題・対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
ノバホール・つくばカピオの次期指定(平成20年度)及び公益法人改革の施行に向けての勉強会・対策会議等を実施し、対応策を検討するとともに体制強化を図る。	平成18年度については、芸術文化事業収入・指定管理事業収入ともに目標数値に到達している。両事業とも、税法上収益事業となるため収益事業比率は低評価となるが、引き続きアンケート調査等の実施により、住民ニーズの把握に努め、住民の要望に応えるとともに財源確保に向けて収入増に努める。	事業活動内容・財務諸表のホームページでの公開については、今年度中の実施に向けて現在準備中。	指定管理事業及び芸術文化事業収入において目標値を達成し、収支比率も前年に比べ健全になっている。今後とも引き続き採算性と公益性、住民ニーズ等のバランスを考えた事業展開を図り、更なる健全化に努める。また、平成19年3月及び6月でこれまで運用していた国債・地方債が償還となったため、リスクと利率のバランス及び金利変動を考慮し、短期(3年・5年)の国債・定期預金での運用を開始した。	平成18年度に分析した、管理施設の光熱水費の削減を図る。人件費については、事業(芸術文化公演数等)の増加に伴う時間外手当等の増加をフレックスタイム制等の活用により最小限に抑える。
今後の事業展開の方向	指定管理事業収入・芸術文化事業収入の増加に向けて、更なる企画力・サービスの向上を図り、安定した財源確保に努めるとともに次期指定管理者募集(平成20年度)・公益法人改革に向けた勉強会・対策会議等を実施し、情報収集に努め、対応策を検討するとともに体制強化を図る。			

[法人を担当する課の意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
指定管理者の再指定に向けた管理システムの構築及び公益法人改革の施行等を踏まえた中長期的な計画を策定して対応する必要がある。	当財団の目的事業である芸術・文化の振興活動等については、住民のニーズを把握し、的確に対応するとともに、安定的な事業運営ができるよう収益性についても留意する必要がある。	公益性の高い法人であることから、法人の事業運営に関する情報を公開するため、ホームページ等の活用による公開が必要である。	指定管理事業及び芸術文化事業収入において目標値を達成し、収支比率も前年に比し健全化している。今後も当財団の目的及び公益性に配慮しつつ、安定的な運営ができるよう努める必要である。	事業内容に配慮しつつ、管理費等の削減について、努める必要がある。
取組内容等	1 企画力の充実、住民サービスの向上 (1) 指定管理事業における効率的な管理運営システムの構築 (2) 公演事業の見直し(アンケート調査等の実施、共催事業等の実施、助成金活用による公演内容の充実) 2 自主財源の確保 (1) 基本財産の運用(平成18年度運用方法の検討及び決定、平成19年度運用開始) (2) 事業収入(カピオ・ノバホール利用料収入の増加、公演事業収入の増加) 3 経費の削減 人件費等の削減			
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
計画	<ul style="list-style-type: none"> 職員配置・サービス向上策を検討 アンケート調査等の実施により、市民ニーズを把握し、採算性の高い事業を企画 共催事業の積極的導入 カピオ・ノバホール利用料収入(平成18年度目標50,360千円) 公演事業収入(平成18年度目標29,718千円) 	<ul style="list-style-type: none"> 職員配置・サービス向上策等を前年度を踏まえ検討 アンケート調査等の実施により、市民ニーズを把握し、採算性の高い事業を企画 共催事業の積極的導入 カピオ・ノバホール利用料収入目標(平成19年度 50,864千円) 公演事業収入目標(平成19年度 30,610千円) 給与等5%削減(対前年比) 	<ul style="list-style-type: none"> 効率的な管理システムの確立 アンケート調査等の実施により、市民ニーズを把握し、採算性の高い事業を企画 共催事業の積極的導入 カピオ・ノバホール利用料収入目標(平成20年度 51,881千円) 公演事業収入目標(平成20年度 32,140千円) 給与等1%削減(対前年比) 	
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> サービス向上等に関する検討会議を開催。(6回) アンケート調査を実施(22回)。 共催事業を実施(7回) カピオ・ノバホール利用料収入(平成18年度実績54,599千円) 公演事業収入(平成18年度実績32,000千円) 	-	-	
法人担当課の意見	指定管理事業及び芸術文化事業収入において目標値を達成しているが、今後も公益性に配慮しつつ、収益性の高い芸術・文化振興事業を企画し、収支の健全化を図る必要がある。また、指定管理事業についても、ノバホール、つくばカピオの管理運営の適正な執行に努める必要がある。 なお、事業の効率的な展開ができるよう、引続き経費節減に努める必要がある。			

[総合評価]

<p>取組みを強化すべき視点</p>	<p>計画性 目的適合性 組織運営の適正性 健全性 効率性</p>
<p>総合的所見等</p>	<p>概ね良好 改善の余地がある 緊急の改善措置が必要</p> <p>平成18年度指定管理を受けた「ノバホール」、「つくばカピオ」について、利用料収入や公演事業収入など自主財源の確保に努めた結果、当期正味財産増減額が大幅に改善された。今後とも、つくば市の補助金・委託金の減額が懸念されることから、更なる企画力・サービスの向上を図り安定した財源確保に努め、組織・事業の見直しや更なる経費削減など、より効率的な管理運営体制を構築していく必要がある。</p>

<p>総合的所見等に係る対応</p>	<p>平成18年度においては、「ノバホール」などの指定管理者としての利用料収入及び公演事業収入など自主財源の増加により、当期正味財産増減額が大幅に改善されるなど、財務の健全化が図られた。今後も、利用者サービスの向上並びに魅力ある公演事業の企画等により、自主財源を安定的に確保するとともに、より効率的な管理運営体制の構築及び経費削減に努めるよう指導していく。</p>
--------------------	--

< 財団法人つくば都市振興財団 から県民のみなさまへ >

県民のみなさまには、日頃より当財団の事業運営にご協力いただきまして誠にありがとうございます。平成18年度は、ノバホール・つくばカピオの指定管理者として、新たな体制で臨んだ1年でしたが、厳しい財政状況のなか全職員が一丸となって事業に取り組んだ結果、メイン事業であります芸術文化事業、指定管理事業におきまして、収入目標を達成することができ、財政状況も前年に比べ健全化してまいりました。しかしながら、指定管理期間は平成21年3月までであり、平成20年度には、次期指定管理者公募(予定)が控えております。引き続き、企画力・住民サービスの向上に努め、次期指定に向け実績を重ねるとともに、経費の削減による事業の効率化を図り、安定した経営基盤を確立し、設立目的であります「住民の豊かで魅力ある都市生活の向上」に向けて更なる事業の充実化を図ってまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

平成20年2月 理事長 鈴木 宏